産業建設常任委員会資料
都市安全部　道路建設課

議案第１３３号
工事請負契約（（都）荒地西山線道路新設改良工事（その２））の変更について

資料１　変更内容及び理由について

１　変更経緯

土壌分析調査により汚染土（ふっ素及びその化合物）と一般土砂に区別した残土処理に変更する。また、コンクリート構造物の品質確保のため、ひび割れ防止対策を追加する。その他、現場状況を踏まえて、下記のとおり設計変更を行う。

（当初請負額 358,710,000 円、第１回変更請負額 430,892,000 円、第２回変更請負額 442,477,200 円、11,585,200 円の増額）

２　変更内容及び理由

（１）道路土工　１式（15,660 千円減）

隣接工事の実績より現場発生土は全て汚染土と想定していたが、土壌分析調査により一部の土砂は基準を下回ることが判明したため、汚染土と一般土砂に区別して処分費を減額変更する。**【図-1】**

（２）場所打擁壁工　１式（12,609 千円増）

土木工事共通仕様書に基づくコンクリートのひび割れ防止対策の検討結果より、コンクリートへの膨張材の添加、ひび割れ誘発目地の追加、配筋計画の変更を行う。**【図-2】【図-3】**

（３）仮設工　１式（14,305 千円増）

工程の見直しによる工期の延伸に伴い、仮設材の設置期間が延長されるため、賃料を増額変更する。

また、地盤の掘削による既設構造物や近隣住宅への影響を防止するため、切梁をＨ形鋼（手動ジャッキ付）から変形を抑制可能な特殊切梁（油圧ジャッキ付）に変更する。**【図-4】**

（４）その他　１式（331 千円増）

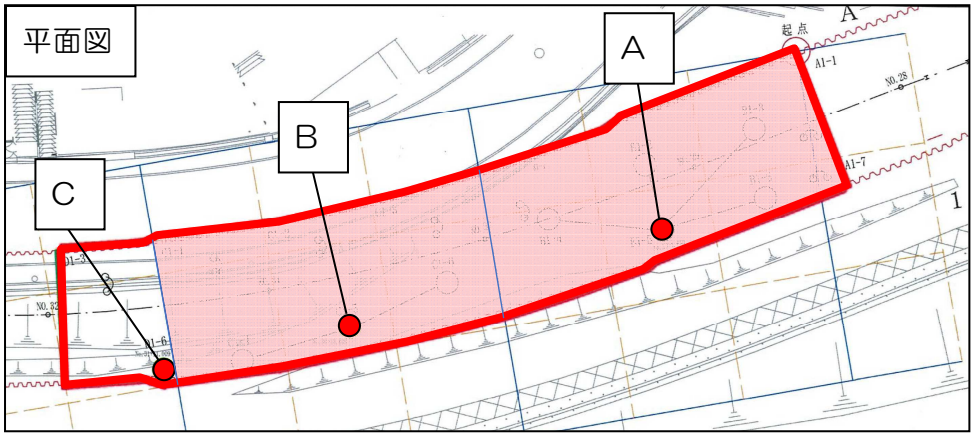
現地精査及び数量精査により増額変更する。

（５）工期

先行工事との調整による工程の見直しにより、工期を令和４年３月３１日迄から令和４年９月３０日迄に延伸する。

【図-1】汚染土と一般土砂に区別

（１）土壌分析調査結果



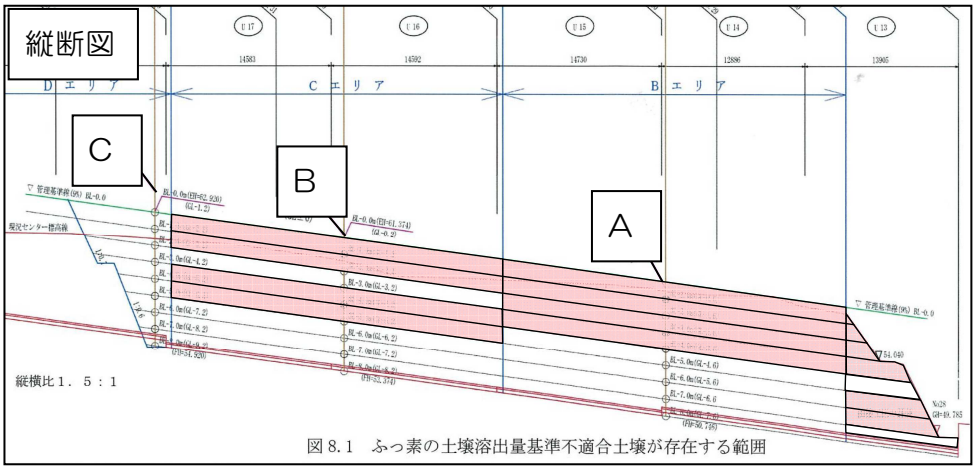


図 8.1　ふっ素の土壌溶出量基準不適合土壌が存在する範囲

C

項目	砒素及びその化合物		ふっ素及びその化合物	
	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)
表層 ※	0.006	15未満	0.41	400未満
GL-1.2m	0.002	15未満	0.30	400未満
GL-2.2m	0.007	15未満	0.67	400未満
GL-3.2m	0.008	15未満	0.77	400未満
GL-4.2m	0.001未満	15未満	0.53	400未満
GL-5.2m	0.001未満	15未満	0.26	400未満
GL-6.2m	0.001未満	15未満	0.27	400未満
GL-7.2m	0.001未満	15未満	0.56	400未満
GL-8.2m	0.001未満	15未満	0.49	400未満
GL-9.2m	0.001未満	15未満	0.54	400未満
基準値	0.01以下	150以下	0.8以下	4000以下
定量下限値	0.001	15	0.08	400

B

項目	砒素及びその化合物		ふっ素及びその化合物	
	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)
表層 ※	0.005	15未満	0.41	400未満
GL-1.2m	0.007	15未満	0.84	400未満
GL-2.2m	0.006	15未満	0.74	400未満
GL-3.2m	0.001未満	15未満	0.22	400未満
GL-4.2m	0.001未満	15未満	1.1	400未満
GL-5.2m	0.001未満	15未満	0.36	400未満
GL-6.2m	0.001未満	15未満	0.73	400未満
GL-7.2m	0.001未満	15未満	0.53	400未満
GL-8.2m	0.001未満	15未満	0.30	400未満
基準値	0.01以下	150以下	0.8以下	4000以下
定量下限値	0.001	15	0.08	400

A

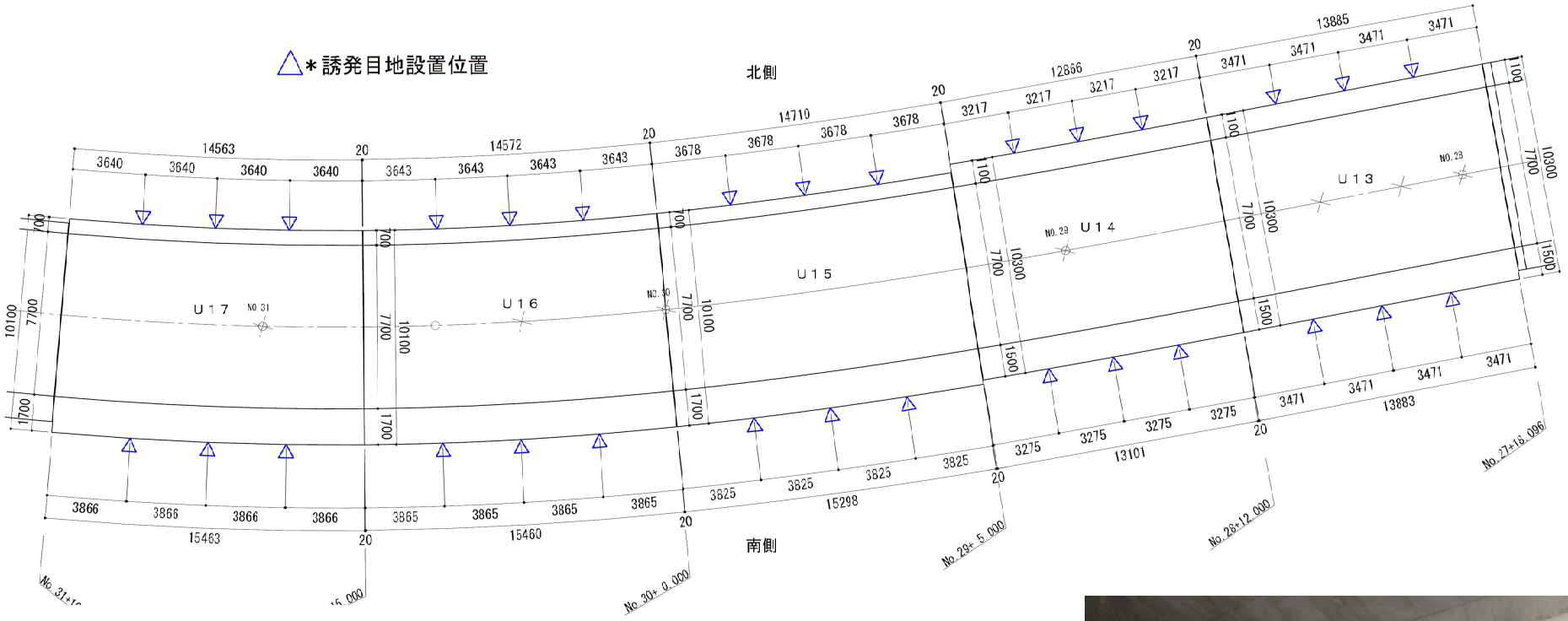
項目	砒素及びその化合物		ふっ素及びその化合物	
	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)
表層 ※	0.005	15未満	0.48	400未満
GL-0.6m	0.001	15未満	1.0	400未満
GL-1.6m	0.002	15未満	0.63	400未満
GL-2.6m	0.001未満	15未満	1.2	400未満
GL-3.6m	0.001未満	15未満	0.35	400未満
GL-4.6m	0.001未満	15未満	0.43	400未満
GL-5.6m	0.001未満	15未満	0.36	400未満
GL-6.6m	0.001未満	15未満	0.50	400未満
GL-7.6m	0.001未満	15未満	0.36	400未満
基準値	0.01以下	150以下	0.8以下	4000以下
定量下限値	0.001	15	0.08	400

（２）残土処分

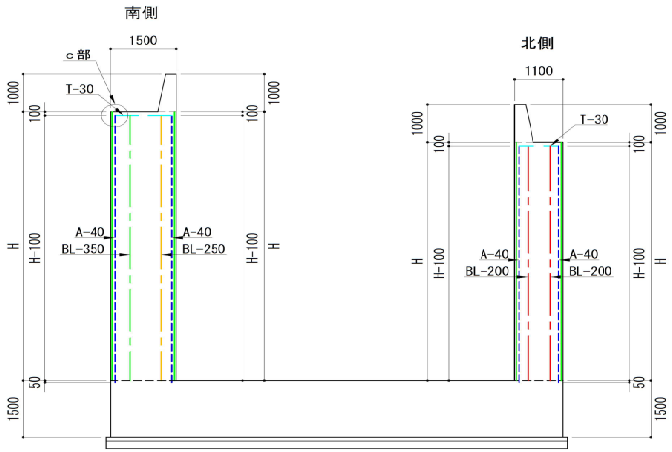
当初の想定
掘削土量
約6,300㎥
当初は全て
汚染土と想定
土壌分析調査結果
汚染土
約2,800㎥
一般土砂
約3,500㎥
残土処分
汚染土
約2,800㎥
約67%
処分先：㈱白兎環境開発
一般土砂
約1,400㎥
約33%
処分先：㈱大阪砕石工業所
盛土・埋戻し
一般土砂
約2,100㎥

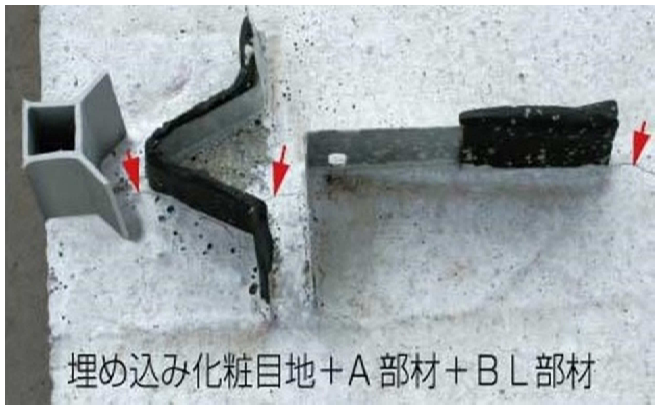
【図-2】ひび割れ誘発目地の追加

配置平面図
S＝1／200



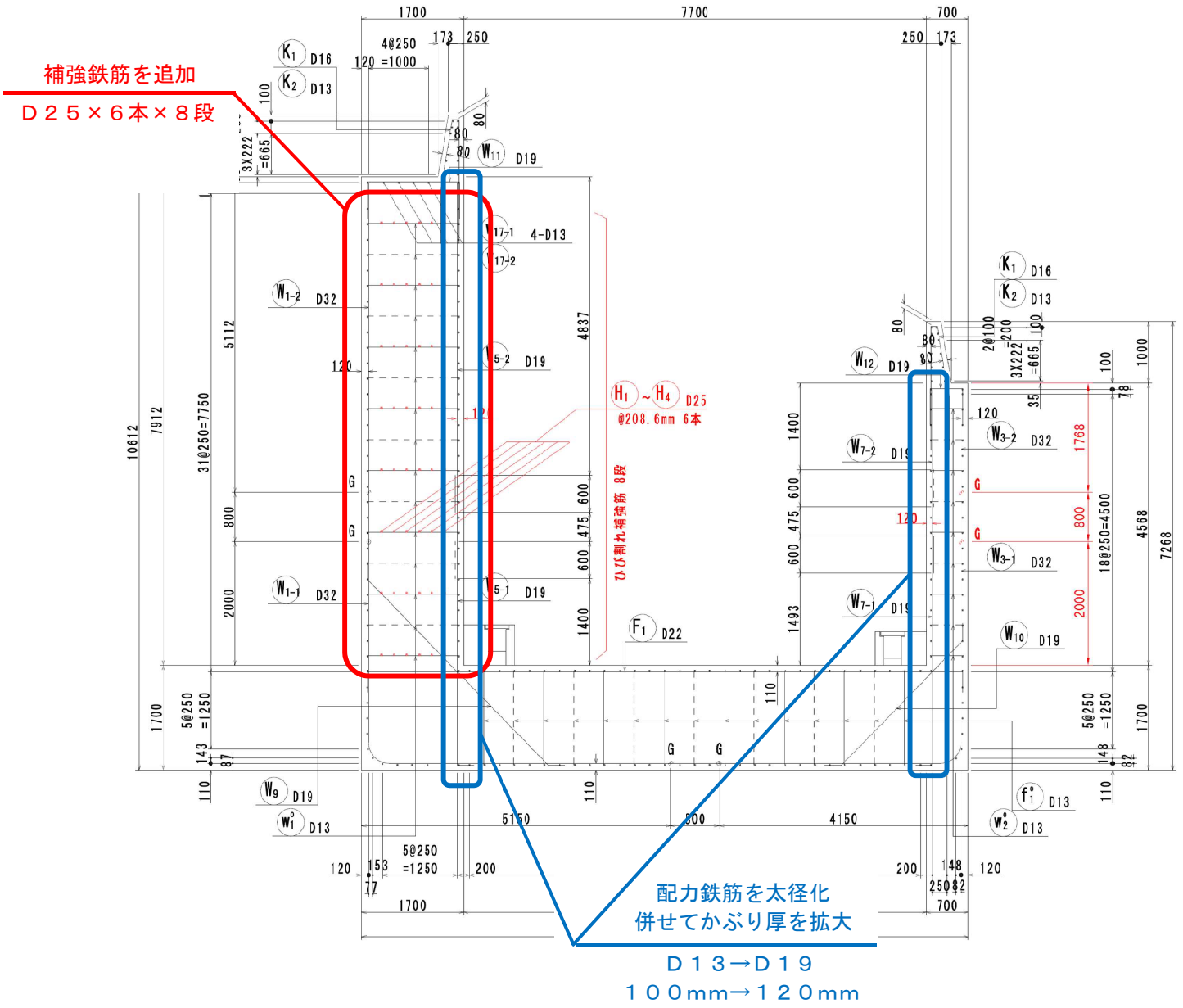
U13・U14　断面図
S＝1／100





参考写真（他工事の例）

Ｕ型擁壁配筋図（Ｕ15ブロック）の例



【図-4】手動ジャッキを油圧ジャッキに変更

変更前

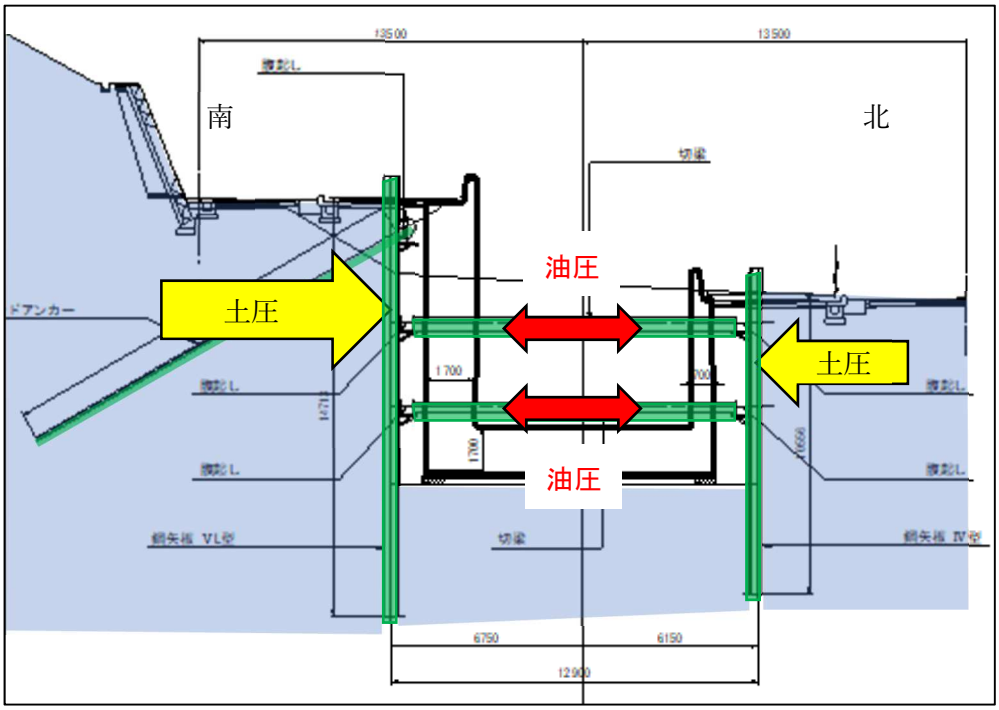
H 形鋼　＋　手動ジャッキ
（H400、H500）

変更後

H 形鋼　＋　油圧ジャッキ
（H400）

特殊切梁　＋　油圧ジャッキ

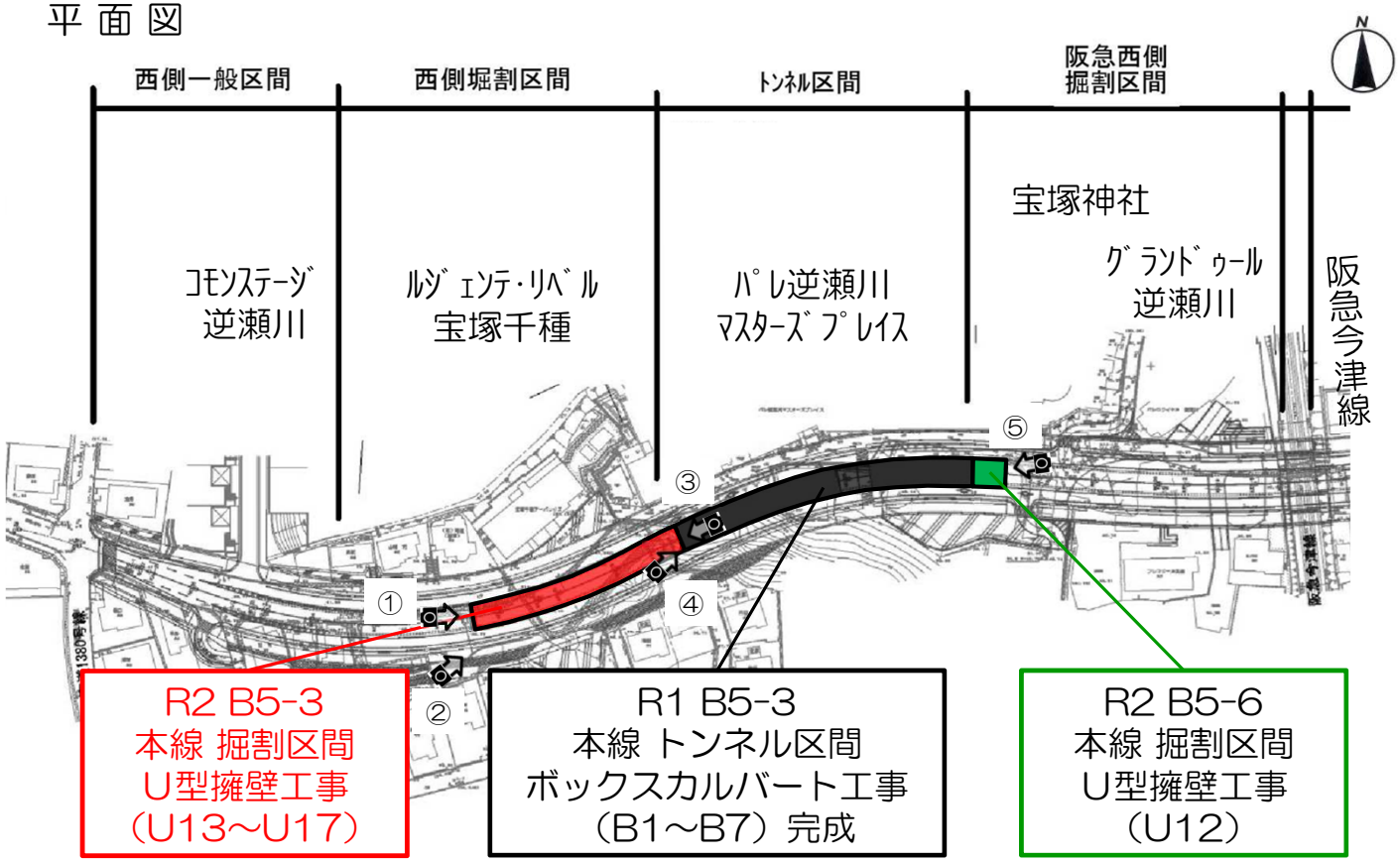
横断図



参考写真（他工事の例）

■R2 B5-3 (都)荒地西山線道路新設改良工事(その2)
本線掘割区間　U型擁壁工事　延長約72m

平 面 図



⑤

④

①

②

③

2021年11月5日　現在